

第7回

碓井中中学校区小中一体型校施設整備協議会

資料

平成31年1月9日

(1) 4つの課題等に対応する施設

小中連携を推進する施設	明るく清潔な施設	個々の教育的ニーズに応えられる施設	コンパクトで機能的な施設
<ul style="list-style-type: none"> 職員室を共有化し、教職員が情報を共有できる施設 学年会議や各種委員会等、日常的な打合せを行いやすい施設 特別教室の共有化や異学年交流スペースを配置した施設 	<ul style="list-style-type: none"> 自然光を取り入れ、明るく開放感のある施設 内装に木材を使用し、落ち着いた優しい施設 明るく衛生的な洋式トイレの設置 自校給食方式により、食育を推進できる施設 	<ul style="list-style-type: none"> 通級指導教室設置校では適切な場所に通級指導教室を設置した施設 バリアフリー*1 及びユニバーサルデザイン*2 の考え方を取り入れた施設 相談室、多目的トイレ、更衣室等の設置 <p>*1：障がいのある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものの除去 *2：障がいの有無、年齢、性別、人種等に関わらず多様な人々が利用しやすいようデザインする考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特別教室・管理諸室の共有化 小・中学校が相互に刺激し合える教室配置 誰にでも分かりやすい教室配置 屋内運動場はバスケットコート2面以上、運動場は200mトラックを配置できる施設 学校プールを設置する場合は小学校の水深を基本とした学校プールの設置 子どもたちが一番使いやすい、教育効果が上がるようなものを作ってほしい

(2) 新たな教育課題に対応する施設

時代の変化に柔軟に対応できる施設	国際化社会・高度情報化社会に対応できる施設	主体的に学べる施設
<ul style="list-style-type: none"> 少人数指導に対応した教室の設置 多様な使い方に対応した多目的室の設置 可動間仕切り等により、間取りを柔軟に変更できる施設 将来の用途変更等も想定し、間取りの変更が可能（容易）な施設 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語等を身近に学べる教室を配置した施設 無線LAN等により、施設内で自由に情報機器を使用できる施設 パソコン等の情報機器を身近に感じ、容易に使用できる施設 情報収集に必要なインターネット環境や図書室を関連させた施設 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学びの場として、利便性の高い図書室を配置した施設 ギャラリーやホール等主体的な活動をサポートできる施設 9年間の学校生活により人間関係を豊かに発展させ、主体的な学習意欲を喚起する施設 円滑に部活動が運営できる施設

(3) ふるさと嘉麻を心に育む施設

地域住民の集いの場となる施設	地元産材を活用し、キャリア教育の場となる施設
<ul style="list-style-type: none">・ゲストティーチャー等と児童生徒が交流活動出来るスペースを備えた施設・地域住民が気軽に教育活動にふれられる施設	<ul style="list-style-type: none">・嘉麻市産の木材を活用した施設

(4) 地域の資源として機能する施設

利用しやすく、誰にでも優しい施設	地域コミュニティの拠点となる施設
<ul style="list-style-type: none">・多目的トイレを各階に配置した施設・大きくわかりやすいサインを配置した施設・身体障がい者等用駐車場を配置した施設・臨機応変に対応できる駐車場整備を行ってほしい	<ul style="list-style-type: none">・社会教育施設や社会体育施設との共有を想定した施設・地域住民の利用を想定したゆとりある駐車場と安全な車両動線の確保・体育館や運動場は学校開放に配慮し、出入り口の分離やクラブハウスの設置等使用区分が明確な施設・図書館には車いすの方も利用できるような駐車場や自転車やバイクの駐輪場が必要・図書館は既存の本を置ける十分なスペースを設け、学習スペースも設けてほしい

(5) 安全・安心を守る施設

安全な施設	維持管理しやすく、長期にわたり機能性を確保できる施設	環境にやさしい施設
<ul style="list-style-type: none"> • 死角の少ない校舎、施設配置 • 避難動線や非構造部材の耐震化に配慮した施設 • 職員室を中心に学校全体を把握できる施設 • 児童生徒と車両の動線を分離した施設 • 監視カメラ等により不審者の侵入を監視できる施設 • 災害の際に避難所としての機能を果たせる施設 • 避難所として使用する際の機能性（使用の長期化・衛生面等）に配慮した施設 • 安全で授業に集中できる教室内環境を確保するため、必要性に応じて空調機器を配置した施設 • もしもの時を想定した安全な施設をつくってほしい • 不審者対策として、日没後の照明など明るい施設にしてほしい • 一般の方と児童生徒の動線は分離してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> • 簡素な施設配置とし、改修が容易な施設 • 防水や外壁材に長寿命な材料を採用した施設 • 機器、備品、仕上げ材等は特殊材ではなく一般的な材料を用い、修繕や機器更新を合理的に実施できる施設 	<ul style="list-style-type: none"> • 機器・備品類を、出来る限り再利用した施設 • 最新の機器を使用し省エネに配慮した施設 • 日照、採光、通風に配慮した施設 • エコスクール^{*3}の考え方を取り入れた施設 <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">*3：環境を考慮した整備された学校施設</p>

(6) その他協議会での意見

<ul style="list-style-type: none"> • 工事期間中の工事時間制限など、児童に配慮してほしい • 運動会時の駐車場については、学校敷地内でのスペース確保が難しいため、美術館等の駐車場を借りるなどの対応も必要 • 工事中は敷地内に運動場を何らかの形で設けてほしい • 校舎形状を含めゾーニング関係は、教育委員会と学校で意見交換を行い、よく検討してほしい • 平面、空間、校舎形状についてはそれぞれの案の特徴や利点の意見を出し合って、それを考慮した建物を基本設計で決めてもらう方向性が良い
